

9/12

第16回 院内研究発表会

今年第16回目を迎える、院内研究発表会には、8題がエントリーされました。毎年9月第2土曜日に開催している発表会は、各部門より研究や取り組みの紹介など、各職種の視点で研究、まとめられた興味深いタイトルが並びます。今年にはコロナ禍のため、表彰式と合わせて行われる懇親会は中止にするなど感染予防を万全にして実施しました。院内3ヶ所をロートで繋ぎ密にならない環境の中、各会場からも質問を受ける形で、できるだけ、いつもに近い形での発表会としました。演題は例年より少し少ないものの、かえって集中して聞くことができましたという意見もあり、「学びの秋」にふさわしい1日となりました。

発表No.⑦	発表No.④	発表No.②	発表No.①	発表No.⑥	発表No.⑤	発表No.③	発表No.⑧
奨励賞	奨励賞	奨励賞	奨励賞	優秀賞	優秀賞	準グランプリ	グランプリ
PEG(経皮内視鏡的胃瘻造設術)におけるPN(予後栄養指数)の有用性について	入院が長期化する背景を可視化する	精神科身体合併症管理加算 加算の算定から気づくこと	精神科救急入院病棟で拘束中の患者における身体合併症発症の実態	精神科救急入院病棟に勤務する看護師の危険物に対する認識の変化	新型コロナウイルス(COVID-19)感染症発生地域からの帰国者及びその支援者への精神的支援 DPAAT先遣隊活動	H2病棟における看護職員の院内暴力評価スケールへの認識と実態	精神科慢性期閉鎖病棟入院患者における手指衛生の習慣化に向けた取り組み パームスタンプを使用し 事象を可視化することでの起る意識の変化
食療課	医療福祉相談室	医事課	E1病棟 (精神科救急)	C1病棟 (精神科救急)	H3病棟 (精神科救急)	H2病棟 (精神科救急)	C2病棟 (亜急性期)

基本方針

人権を重んじ、患者さんやご家族の「こころ」に寄り添ったやさしい医療を提供します。

質の高い医療を提供するため、すぐれた医療人を育てます。

「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。

地域の拠点病院として、保健・医療・福祉に貢献します。

信頼される医療サービスを提供するため、経営の健全化につとめます。

2016.4.1 改定



院内花 竜胆



● 秋の代表花。
山道でもよく見かける。ラッパ形で筒形。5裂する。
紫や青色のものが多く、白やピンク色のものもある。
● 花は日光を受けると開き、夜は閉じる。雨や曇りの日は閉じたまま。
最近、花屋さんの店先によく出ています。濃い紫色のつぼみが目を引く美しい花です。

中秋の名月

旧暦8月15日の月は、「中秋の名月」といわれ、月見をする風習があります。秋は気候も良く、空も澄んでいるので特に美しい月を見ることができるといいます。

では旧暦8月15日、今年はいつでしょう。9月というイメージもありますが、今年は「10月1日」雨も少ないこの時期、ゆっくりと月を眺めるのもいいかもしれませんね。

ちなみに、満月は10月2日で中秋の名月が必ずしも満月とは限りません。濃い紫色のつぼみが目を引く美しい花です。



■外来診察表

外来診察時間/9:00~12:00(受付は11:30まで)
令和2年8月1日から各医師の診察を各曜日・各診察室で行います。

	月	火	水	木	金	土	
診 察 室	1 診	黒田	土井拓	久保	横田	黒田	横田
	2 診	田中	横井	松島	戎	横井	萩野
	3 診	松島	亀田	植田	白銀	戎	植田
	4 診	植家	土井貴	橋本亮	橋本優	中井基	
	5 診	佐野	山田	福島	加納	車井	松村
	6 診	柴田	長谷川	大西	吉川	小林	小笹
	7 診	山本	三浦	小深田	仲里	京田	小深田
	8 診	熊取谷	橋本愛	松下	大村	国本	熊取谷
	9 診	上坂	柏木		吉見	土井拓	
	診(心1)			中井啓			

*医師の急な都合により変更・休診となることがございますので、予めご了承ください。
(ご紹介いただく際は予めのご連絡をお願いいたします)



専門外来
(睡眠・児童・往診・女性・口腔)は予約制です。
医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。受診の前にお電話ください。
TEL.072-278-0381
FAX.072-281-6615

診療科目

精神科/心療内科/児童精神科/内科/歯科/
小児科/放射線科/神経内科

病床数

- EPU(精神科救急)病棟 212床(C1,E1,H2,H3病棟)
- 児童精神科病棟 30床(D1病棟)
- 亜急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
- 精神科急性期治療病棟 60床(D2病棟)
- メンタルケア(精神科急性期治療)病棟 35床(E3病棟)
- 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
- MPU(精神科合併症治療)病棟 53床(H1病棟)
- 精神療養病棟 60床(F3病棟)
- 認知症治療病棟 60床(F2病棟) 計690床

関連施設ご紹介

- 認知症疾患医療センター ☎072-278-0233
- 訪問看護ステーションふれあいサテライト「浜寺石津」「和泉府中」 ☎072-279-1631
- グループホームあんずの郷
堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい
堺市中区深井沢町3324 FUKAIビル1F
☎072-277-9555
- 堺市発達障害者支援センター アプリコット堺
堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号
堺市立健康福祉プラザ内3F ☎072-275-8506
- 医療福祉相談室(直通) ☎072-278-3768
- 就労移行支援事業所 エンワーク
堺市中区深井清水町3544-3
アンシャンテ深井1F ☎072-270-3318
- 居宅介護支援事業所 ☎072-278-0488

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の脅威は続いております。当院でも引き続き、玄関での検温や面会の禁止などさせていただきます。今後も大阪府、堺市の対策に合わせ、対応してまいります。ご不便をおかけすることもございますが、ご理解、ご協力の程お願い申し上げます。次に厚生労働省有識者会議で提言されている、「新しい生活様式」の実践例をホームページから抜粋しました。これから秋、冬とインフルエンザも流行る季節です。充分にお身体ご留意ください。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

(厚労省ホームページより抜粋)

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をしているときは、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をしているときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ませ
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 名刺交換はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

発達障害講演会

8月23日(日)に堺市産業振興センターにて、堺市子ども家庭課との共催で「発達障害のある人の自立、自分らしく生きていこう」を開催しました。本来であれば、4月の発達障害啓発週間にあわせて4月12日の開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、日程が延期となりました。講演会前の準備では、会場内の消毒や座席間隔の調整、受付前の検温実施、定員を会場収容人数の半分以下とし、スタッフと登壇者もフェイスシールドを着用するなど、感染予防対策を講じた上での実施となりました。



講演会では、堺市内で発達障害の自助グループ活動を展開しているさかいハツタツ友の会より当事者3名の方に登壇いただき、「発達障害のある人の自立とは何かをテーマに座談会方式でお話をさせていただきました。」

講演会では、「転職を10回繰り返すことでスキルがついた」「時には失敗して頭を打つことで、自分と向き合える」など実体験に基づいたお話をいただき、失敗があるからこそ次のステップに進むことが出来るといった今悩んでおられる方々にとって励みや前向きになれるようなメッセージを伝えていただきました。

また「誰にも頼らず一人で生きることが自立ではない。苦手な部分は誰かに支えてもらいながら、今自分が出来ることを全力で取り組むことが自立である」というお話もありました。この言葉からは一人ひとり自立の形は違うということ、誰かと比べるのではなく自分らしく生きていくことが本来の自立であるといった力強いメッセージが込められているように感じました。

今回は感染予防対策で時間短縮により1時間半の内容となりましたが、当事者の方ならではの視点でも貴重なお話をしてくださりました。参加者の皆さんも真剣に耳を傾けておられました。アプリコット堺では、一般市民の方や関係者の方に向けた啓発活動を行っています。社会情勢を鑑みつつ、より多くの方に発達障害について知っていただけるよう今後も啓発活動に取り組んでいきたいと思っております。

(堺市発達障害者支援センターアプリコット堺)

A棟・B棟 解体工事

現在、A棟・B棟解体工事のために、周辺の通行止めなどさせていただき、ご迷惑をおかけしております。終了予定は2021年2月、更地にした上で、新棟の建設へ進めていきます。

現在は、A棟・B棟ともに防音壁で入念に

囲いをして、中に入ることはできません。解体は、散水しながら、粉じんが舞わないよう配慮し進めております。騒音にも充分注意してまいりますのでご理解の程お願い申し上げます。



周辺の植木も元気なものは別場所に移植しました。



解体工事中



当院は敷地内完全禁煙です